

# 地方創生に係る高齢者の就労機会拡充連携支援事業

「生涯現役促進地域連携事業」(H29年度～R1年度)

## 「仕事の切り出しや地域特性を生かした就労への取組」 「潜在力」を「活かす」



実施団体：

公益社団法人松山市シルバー人材センター



# 目次

---

## 1. はじめに

### (1) 連携事業の目的

「生涯現役促進地域連携事業(平成 30 年度開始分)の実施団体の募集について」巻頭

### (2) 事業構想の基本的な考え方

生涯現役促進地域連携事業(平成 29 年度開始分) 募集要項

## 2. 事業構想概念

### (1) テーマ (2) 重点分野 (3) 特徴

### (4) 具体的事業 (5) 指標と実績 (6) 最終目標

## 3. 事業構想の起点

### (1) 本事業の実施に当り

### (2) 段階的ステージを

## 4. 取り組み事例

事例 1 : 介護助手育成候補者指導トライアル調査業務

事例 2 : 松山郷土料理関係

## 5. 協働事業としての取り組みと将来像

## 6. 終わりに

# 1. はじめに

## (1) 生涯現役促進地域連携事業の目的

厚生労働省では、少子・高齢化が進展する中、健康で意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向けた取組を進めています。

現在、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和 46 年法律第 68 号。以下「高年齢者雇用安定法」という。）において、企業に対し 65 歳までの高年齢者雇用確保措置を講ずることが義務づけられていますが、企業を退職した 65 歳以降の高年齢者の多様な就業機会の確保が、今後の重要な課題となっています。

特に、平成 26 年には、団塊の世代全員が 65 歳に到達し、その多くが活動の場を自身の居住地域等に移していているため、これらの層を含む高年齢者が地域社会で活躍できる環境を整備していく必要があります。

このため、本事業を通じて、高年齢者の雇用・就業促進に向けた地域の取組を支援し、先駆的なモデル地域の普及を図ることにより、多様な雇用・就業機会を創出していきます。

「生涯現役促進地域連携事業（平成 30 年度開始分）の実施団体の募集について」巻頭より

## (2) 事業構想の基本的な考え方

### 【別紙3】

生涯現役促進地域連携事業（平成29年度開始分）募集要項

#### ■事業内容

##### (1) 基本的な考え方

地域連携事業の趣旨は、高年齢者の雇用・就業促進に向けた地域の取組を支援し、**先駆的なモデル地域の普及**を図ることにより、多様な雇用・就業機会を創出していくことにあります。

このため、**地域連携事業終了後**においても、地域がその**成果と蓄積されたノウハウを生かし、自立的に高年齢者の雇用・就業促進に向けた取組を実施していく**ことが重要です。

## 2. 事業構想

### (1) テーマ

- ① 求人ニーズが満たされない職種の高齢者活用
- ② 退職前の仕事の経験等を活かせる仕事の創造
- ③ 女性高齢者の新たな就業機会の創造

### (2) 重点分野

- ① 農林水産業（農業）
- ② 宿泊業・飲食サービス業
- ③ 医療福祉（介護）
- ④ サービス（その他のサービス）

### (3) 特徴

- ① 協議会会員の専門性活用と連携
- ② 首都圏の仕事の分散と新たな仕事の開発
- ③ 農業と飲食業等を一体化した新たな観光サービス構築

## 2. 事業構想

### (4) 具体的事業

広報誌による啓発

高齢者対象専門情報誌の発行配布

「未・来 JOB まつやま」  
高齢者相談員配置

高齢者相談ブース開設と  
未就労高齢者アンケート

松山ファンクラブ首都圏企業の仕事確保と移住就労促進

介護助手候補者育成指導トライアル調査事業

松山郷土料理講習

松山郷土料理  
農産品  
普及啓発事業

松山郷土料理  
農産物ファーム  
就農者育成講習

# 高齢者対象専門情報誌「悠悠」





休耕田を活用し、江戸時代から栽培されている伝統野菜「伊予の緋かぶ」づくりに取り組む

「お城山の天守閣が見える場所でないと言いたくない」という思いが、伝統野菜「伊予の緋かぶ」づくりの原動力となる。

香りのよいダイダイ酢に漬けるなど、鮮やかな紅色に染まる。松山地域のおせち料理に欠かせない「緋のかぶら漬け」の原料となる伊予の緋かぶ栽培の取り組みなどを紹介。



### セカンドキャリアの相談は「シニア就労相談ブース」へ

「シニア就労相談ブース」は、シニア世代のセカンドキャリアの相談や、再就職、退職準備の相談受付中！



大野昭明 さん



### 介護現場の 進行中！ 就労実態調査に基づく、 新しい高齢者活用提案検討



高齢者の就業が事業で活発化する中、介護現場での活用も注目されています。本事業では、介護現場での就業実態調査の結果を踏まえ、新しい高齢者活用提案を検討しています。

本事業は、介護現場での就業実態調査の結果を踏まえ、新しい高齢者活用提案を検討しています。

### シニアの新しい働き方を示唆

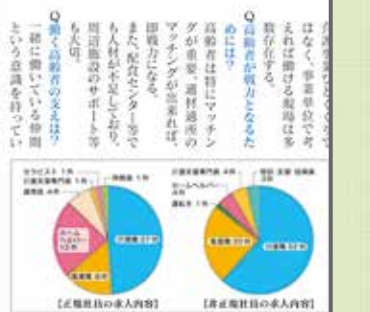
「シニアの新しい働き方」を示唆する調査結果が発表された。これは、シニア世代の就業実態を調査した結果に基づき、新しい働き方を提案している。調査結果は、シニア世代の就業実態を調査した結果に基づき、新しい働き方を提案している。



### 首都圏の仕事確保に

首都圏の仕事確保にシニア世代が取り組んでいる。調査結果は、シニア世代の就業実態を調査した結果に基づき、新しい働き方を提案している。

「シニアの新しい働き方」を示唆する調査結果が発表された。これは、シニア世代の就業実態を調査した結果に基づき、新しい働き方を提案している。調査結果は、シニア世代の就業実態を調査した結果に基づき、新しい働き方を提案している。



区分	内容
研修・訓練	職員への研修や研修生・学生に対する指導
コミュニケーション	話し相手としての老人の生活相談
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動
コミュニケーション	認知症の予防・認知症の啓発活動

### 100歳になっても『エプロンの似合うおばあちゃん』でしよう！



生涯現役促進地域連携事業がきっかけとなり、コアメンバー4名が設立した「まつやま郷土料理研究会」が、郷土料理を次世代へ伝えると同時に、高齢者の働く場所を創り出すための取組中！



郷土料理研究会  
ぼふぼの味は  
四つ星級！

「まつやま郷土料理研究会」の活動内容や、高齢者の働く場所を創り出すための取組中！

### アクティブに立ち上がる

家族への介護や仕事を続ける機会が減少する中、地域で受け継がれてきた郷土料理は、高齢者の働く場所を創り出すための取組中！

### まつやま版 健幸測定会 誕生！



高齢者の体力低下と就労中止の関連性

少子高齢化などによる人手不足から、近年シニア労働力に対する需要は拡大しています。また健康寿命の延伸は、元気を高齢者が健康でいることにつながり、シニアの就業率を高めることに貢献しています。内閣府などの調査でも、60〜64歳の労働力の中で58.7%が65歳以降も就業率が高まると予想されています。一方で、体力低下と就労中止の関連性が高まると予想されています。

### 積み重ねてきた経験や知識を活かせ！ 「シニアビジネス創出セミナー」開催



生涯現役促進地域連携事業 008

### 生涯現役促進地域連携事業の今後を語る





## 2. 事業構想

### (5) 指標と実績

<b>アウトプット</b>	H29年度 目標値／実績	H30年度 目標値／実績	H31年度 目標値／実績
利用する高年齢求職者	1,150名／644名	1,325名／957名	1,530名／1,095名
利用する企業数	190名／276名	283名／200名	390名／300名
<b>アウトカム</b>	H29年度 目標値／実績	H30年度 目標値／実績	H31年度 目標値／実績
雇用就業者数	70名／75名	100名／117名	170名／156名
利用者満足度	90％／100％	90％／100％	90％／100％

### (6) 最終目標

高齢者の  
就労機会確保

労働力維持

地場（観光）産業  
維持・拡充

## ■ 3. 事業構想の起点

### (1) 本事業の実施に当たり

潜在的労働力におけるシニア層の割合が益々増える。

労働力としての期待が高まる。

IOT技術の普及で、「求職」・「求人」マッチングはどんどん便利になっていく。

働く事が必須のシニアはより働きやすくなるだろう。

でも

働かなくても生活できる人が、便利になったからと言って働くだろうか？

**働く事へのトラウマや足踏み感を払拭することを、**

地域連携事業で実現できれば（我々の使命）

**潜在的労働力を地域で活かし地方創生に繋がるのではないだろうか？**

## (2) 段階的ステージを

リクルートワークス研究所では、  
過去、高齢者の就労事例の研究を行ったことがある（福島 2007）。

この研究によると、

**高齢者が満足して働くためには、**

**「無理なく役に立つ」ことが重要である**と結論づけられている。

同研究によれば、

「無理なく」というのは、いくつかの要素によって説明されている。

その中で重要なのが、

**第一に長時間労働ではない**ことである。

そして、**第二に、重い責任を負わされない**こと。

そして、**第三に、人から命令されずに働く事**である。



出展：筑摩書房「統計で考える働き方の未来高齢者が働き続ける国へ」

## 潜在的労働力（シニア層）の本音？



「子供も独り立ちして、時間は出来たけど…」  
「若い頃にやってた事、もう一度できるかな？」  
「主人の食事の支度や孫の世話で  
フルタイムで働くのは難しのよね」  
「少しでもお小遣いになる仕事があれば……」



「働かなくても生活は出来そうだ」けど・・・  
「何もしないじ・い・さ・んになるのか？」  
「このままでいいのか？」  
重い責任・重圧・忍耐は・・・もうねえー  
「家内の視線も気になるなあー」

# 「潜在力」を「活かす」

## プロセス1：発掘段階

相談者、これまで関りの有った元経営者、役員等の方々から  
経験・職歴・やりたい事を聞き取り、出来そうな事をリサーチ。

(求人情報提供だけでない)

ご本人の意向を実現する具体的な「仕事」「仕組み作り」の話を膨らませます。

### 事務局メッセージ

貴方の経歴やノウハウを活かして  
高齢者だから出来る仕事の仕組み作りませんか？  
引退された今だから出来ることありませんか？  
地域の同世代の方々と  
一緒にやりたいことがあれば聞かせてください。



## プロセス2：主人公になってもらいます。

「仕組み作りに」関する現状分析・リサーチ・企画・立案の主人公に。

応援できる「体制づくり」のため、協議会メンバー等を通じて企業さんに協力要請。

### 事務局メッセージ

貴方のご繋がりをベースに、  
地元企業さんや都市部の企業さんに協力を求めます。  
高齢者が対価を得て活動できる仕組み作りを進めてください。  
情報収集・分析から企画提案まで土台を作ってください。  
事務作業・データ化・広報活動は事務局で担います。



## プロセス3：主人公の周りに、友人・知人を招き入れます。

ご自身の現役時代のネットワークや友人・知人から、仕組みに共感できる友人・知人を誘ってもらいます。

### 事務局メッセージ

この仕組み作りに関わってくれそうな人いませんか？  
気心の知れた方で、相談・ブラッシュアップしましょう？  
スタッフがそろえば  
企業さんに、企画提案持ち込んで商談に繋げましょう。



## プロセス4：塊を作ります。

知人・友人を創設メンバーとして、知人・友人を連れて来てもらい、同じ目的意識を持った「塊」をつくります。「出来る事」「提案できる事」を増やします。働く場所も地元企業等々で確保していきます。

### 事務局メッセージ

メンバーさんのお一人お一人に関わってくれそうな人を集めてもらいましょう。商談が成立したら、早速仕事に取り掛かれるように、スタッフを集めて・勉強会して・具体化しましょう。コンセプトだけはぶれないように。



## プロセス5：組織として稼働します。（働き方はいろいろ、雇用・起業・有償ボランティア）

ご自身の現役時代のネットワークや友人・知人から、仕組みに共感できる友人・知人を誘ってもらいます。

### 事務局メッセージ

集まった皆さんの「特技」「知識」を仕事に出来るよう、組織化しましょう。株式会社、一般社団法人、NPO、シルバー人材センターの職種班 etc 組織構成員としての働き方は様々です。「生産」、「販売」、「講師」、「商品開発」、スペシャリストとして現役世代を巻き込んで「稼ぐ」機会と場所を作っていきます。



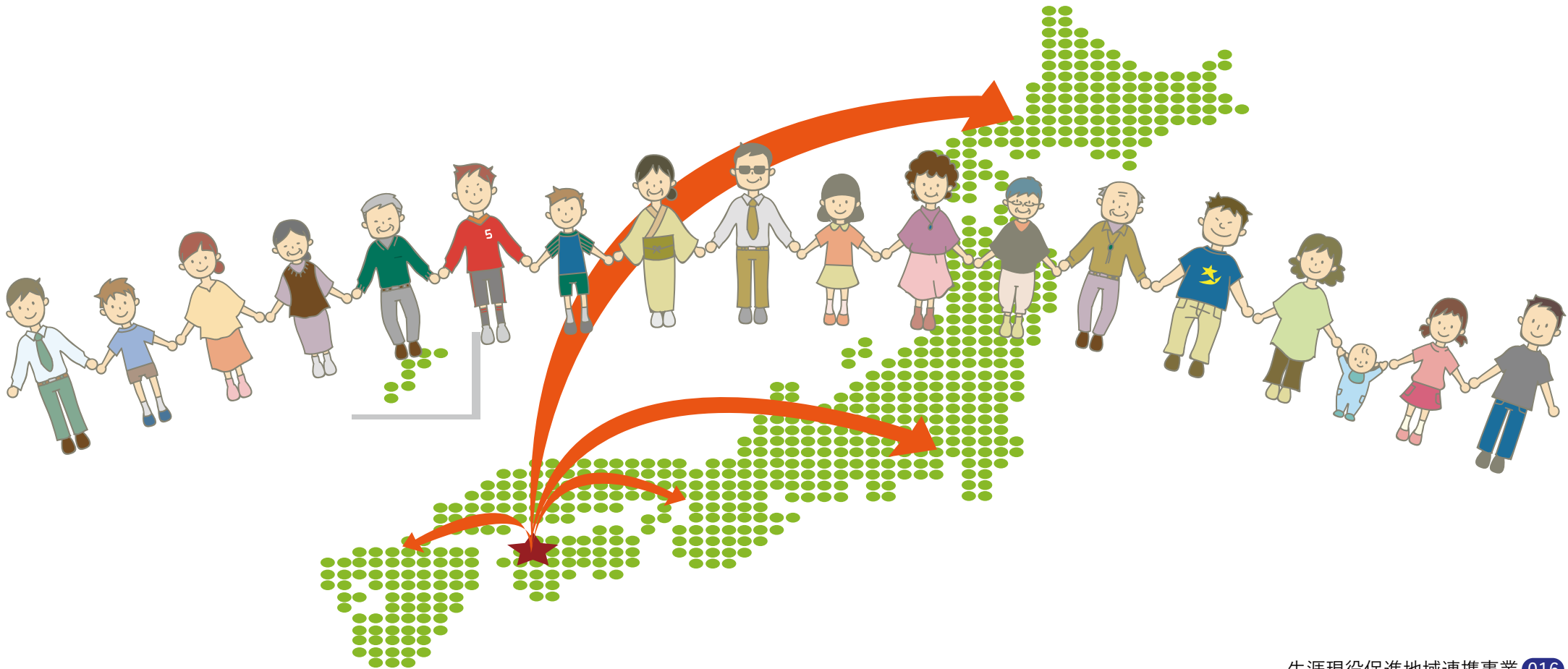
将来：全国の地方を繋ぎ、  
「新しい働き方」や「新しい仕事」を全国展開出来たら良いですね。

地方には、地方の特色があると思います。

シニアの方にもそれぞれの地域において特色があると思います。

全国各地の企画力・実行力に満ち満ちたシニアの塊が繋がれば

シニアビジネスマーケティングの大きな存在意義と価値が生まれると思います。





## 4. 取り組み事例

### 事例… ①

介護助手育成候補者

指導トライアル調査業務（おたすけ隊活動）

年齢の近い元気な高齢者の自身の親の介護等々で培われた傾聴能力、受容能力を活かす

いずれお世話になるなら今のうちに…



▲介護助手を目指して講習会に参加

### 事例… ②

松山郷土料理関係

昭和初期から戦後復興期を生きてきた後期高齢者の生活の中に育まれた食文化を活かして

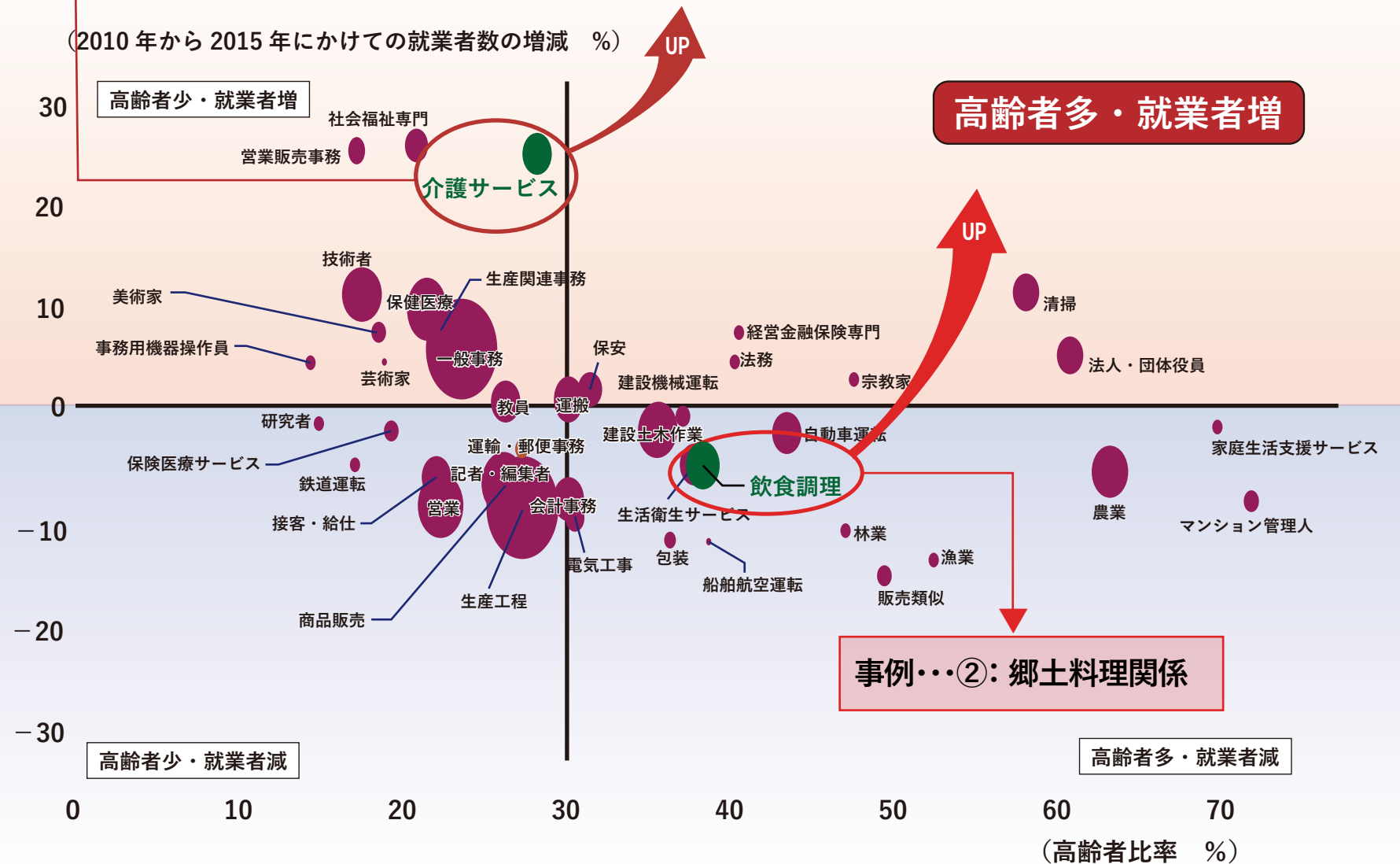
残すべき食文化と働くとの融合には「魅せる！」



▲松山市周辺に古くから伝わる「緋のかぶら漬」は、伊予路に春を呼ぶといわれる郷土食のひとつ

事例・・・①：介護助手育成候補者指導トライアル調査

図表 7-6 各職業の就業者数の増減と高齢者比率



事例・・・②：郷土料理関係

出典：筑摩書房「統計で考える働き方の未来－高齢者が働き続ける国へ」

## 4. 取り組み事例 事例・・・①

### 重点分野

医療福祉（社会福祉・介護事業）

### 地域の特性

高齢者に対するニーズは、人生経験や人間力などを求めており、専門資格者の求人ニーズより多い。しかし、労働条件が不定期などの要因が、求職者のニーズと合わないケースが多く、人材不足が続くことが予想される。

### 仕事の切り出し

「無理なく役に立つ」働き方に着目し、『介護助手』というカテゴリーを切り出した。

### 目 標

介護労働力確保に繋げる事を目指す。

**(1) 介護助手育成候補者指導トライアル調査事業を実施。**

平成 28 年度「生涯現役」という働き方の創造のための介護市場調査実施結果」に基づいて実施。

**(2) 介護助手の役割をタイプ別に想定して育成**

**(3) 高齢者の就労スタイルの構築と介護施設の課題解決を図ることに着手**

ボランティア分野と、専門資格がなくても一定のスキル（傾聴力等々）を活用する分野に分けて検討、社会福協議会の協力・支援を得て、協力会員の確保・教育・配置・指導・支援と、介護施設側のスケジュール調整・コーディネートプランを作成し新たな雇用機会確保を目指した。

**(4) 介護助手を希望する市内高齢者と面談、仕事の提供**

移動手段の課題が残った。

**(5) 「シニア介護スタッフ（体育会系女子）」を確保した。**

介護施設等での新たなサービス（音楽指導士等）の提供を目指す。



- 各高齢者施設において、高齢者活用に関する関心も高まるなか、利用者ニーズの満足度を高めるサービスを提供すると、高齢者を活用することが施設側、働く高齢者ともにメリットが生まれることが判った事や、これまでの施設等調査結果を踏まえ、事業内容の一部を変更した。

### (1) トライアル就業実践事業の実施

NPO 法人のメンバー等で介護への関心が高い元気高齢者に介護分野での就労促進を図る事業。  
「傾聴」能力を活かして、介護施設内で働く役割を担う活動を展開している団体への介護施設へのトライアル就労を実施。

### (2) 実施結果から「生きがい就労」への取り組み検討

超高齢社会を高齢者が支える新たな仕組みづくりの提案、  
高齢者の潜在能力を発揮できる場の創出を目指して。

### (3) 「第一回シルバーフェスティバル」開催

(コミュニティ・スペースプランの構築を目指して)  
介護分野で活躍する女性高齢者確保を目指して、  
シンポジウム・公開ワークを期開催。

### (4) 音楽健康指導士人材発掘育成指導の実施

体育会系女子で組織された団体メンバーへの音楽健康指導の仕事に活用する事業。



▲シルバーフェスティバルの開催を告知した広報物

(1) お助け隊活動の提案とアンケート調査 5月～

(中予地区老人介護施設協議会総会)

8施設から、高齢者の卓越し趣味を施設内でのレクリエーションに活用するなど、高齢者の特技を活かし、入居者の話し相手として登用するなど補助業務への求人等が寄せられた。

(2) 介護施設での「おたすけ隊」を10月結成！

生きがい就労の一環で「おたすけ隊」編成プランを作成。  
介護施設での就労希望者へ研修会を実施、就労機会を開拓を。

(3) 第一回「おたすけ隊」研修会を開催

33名の「おたすけ隊隊員」が誕生  
人手不足が深刻となっている介護現場の人材確保対策として、「元気な高齢者がケアを必要とする高齢者を支える」をテーマに、介護施設での高齢者の活用を提案したのが「おたすけ隊」。

(4) 「第二回シルバークフェスティバル」開催

(高齢女性の生きがい就労のかたち)



▲元気な高齢者が、高齢者を支える「おたすけ隊」の講習会には、多くの人が集まった

## 4. 取り組み事例 事例・・・②

### 重点分野

農林水産業（農業） 宿泊業、飲食サービス業

### 地域の特性（申請当時）

農業分野では、60歳を超えて男女ともに就業者数は増加し、65歳以上では一番多くの就業者となっており、元気な高齢者へのニーズは高まりつつある。

宿泊・飲食サービス業では、観光客数の回復傾向にあるなかで、就労者数は大きな変化は見られない。夜間・早朝時間帯における就労ニーズは高い傾向にある。高齢者においては、女性非正規労働者の比率が高い。道後温泉に改修等による観光客減少対策が喫緊の課題。

### 仕事の切り出し

長時間労働ではない、重い責任を負わされない、人から命令されずに働く事を踏まえて仕事の切り出しを行った。

### 目 標

地域の観光産業に繋げる事を目指す。

## 平成 29 年度 【始動】

### (1) 「まつやま郷土料理研究会」を発足

高齢者の料理に関する知識と経験を次世代に伝えると同時に高齢者が生き生きと働ける場所を創り出すプロジェクト始動。

### (2) マイスター制度を導入

第 1 期「まつやま郷土料理マイスター養成講座」を開催。11 名のマイスターを認定

### (3) 伝統野菜伊予の緋かぶを使った「緋の蕪ら漬け」の商品開発開始

松山郷土料理農産物ファーム就農者育成講習と連携し、「伊予の緋かぶ」栽培と「緋の蕪らづけ」商品開発を開始。

### (4) 市内高校「食物科学コース」の「キャリア教育講座」で、特別授業を開催

郷土料理の伝承を目的とした授業を各学期に 1 回 2 学年を対象に、地産地消の大切さ、魚の捌き方、季節のお菓子等の調理実習を実施。

### (5) 「松山市生涯現役市民、活動交流集会」で郷土料理の普及啓発

「瀬戸内の小魚を使った保存食」の講座開催

### (6) 愛媛エプロン教室～親子で郷土料理を楽しむ～

イベント講師と郷土の菓子出展（道後温泉ホテル）



▲収穫量が減っている伝統野菜「緋かぶ」を栽培



▲次世代へ郷土料理を伝えるイベント  
愛媛エプロン教室で講師を務める



## 平成 30 年度 【習熟】

- 「100歳になってもエプロンの似合うおばあちゃんでいよう！」を合言葉に。
- 「郷土料理」を一つのアイテムとして働き続けるステージにたてるように。
- マイスターの一人ひとりが経験を強みに、「まつやま郷土料理研究会」の活動を通して、「松山の食文化の伝承者」として活躍し、長く地域の方々に愛される「シニア活動集団」を目指す。

### (1) 第2期「まつやま郷土料理マイスター養成講座」開催

10名のマイスターを認定。

### (2) 第1期・第2期生の「スキルアップ講習会」を実施

仕事として郷土料理に携わるために、料理を目で楽しませるための“魅せるチカラ”を学ぶ。

### (3) マイスター1期生が念願の農家レストランをオープン！

自家製国産アボカドと郷土料理をコラボしたランチメニューが人気。

### (4) 市内小学校高学年授業での郷土料理のお話と調理実習の講師に。



▲調理専門学校の講師を招き料理の知識を深める



◀自家製アボカドのランチは、老若男女に好評

## 平成元年度 【集大成】

### (1) 第3期「まつやま郷土料理マイスター養成講座」開催

10名のマイスターを認定、(3年間で31名のマイスターを養成)

講座終了後、マイスターたちは地域や学校などで、郷土料理の歴史など伝える「食の伝道師」として活躍するほか、松山市の伝統野菜「伊予緋かぶ」を使った「緋の蕪ら漬け」を「道後温泉」に向けての加工販売など、さまざまな仕事にチャレンジしてる。

### (2) 郷土料理レシピ集「未来に伝えたい食文化」を制作

「ばあばの家ごはん」として松山の郷土料理をご紹介。

### (3) 東京・新橋にて地元産品と郷土料理の試食会を開催

(首都圏への販路拡大を目指して 7/29～8/4)

東京新橋アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」で、現地シニア(港区SC)と連携し、地元産品を使ったランチプレートを提供。

本事業で獲得した首都圏地域の「松山ファンクラブ」の皆さんもご来店、78企業と個人の方55名。満足度調査では、337名の方から好評価を頂く。

### (4) 発信拠点、加工場「マドンナ・キッチン」を確保

事業終了後の活動を目指して、「まつやま郷土料理研究会」の拠点となる食品加工場の確保。



▲郷土料理レシピ集



◀好評だった郷土料理の試食会



## 5. 地域協働コースとしての取り組みと将来像

潜在力を塊として組織化に取り組みました。これを拡充していきます。

せめて、それぞれ100名以上の構成員を確保！

働き方は、「雇用」、「センター会員」、「起業」「ボランティア」もあり。

同じテーマで集う高齢者の主体的活動が、「働く」「稼ぐ」に繋がって、地域で存在感を示せる立ち位置になるように。



◀多くの郷土料理マイスターが誕生し、活躍している



◀「女性会員の会」によるフリーマーケット

洋服などのお直しを受注するほか、古布で制作した小物などの販売を行う



◀専門家による講習が行われる介護助手（おたすけ隊）講習会



## 6. 終わりに

目一杯働くもよし

自分の都合に合わせて働くもよし

生涯現役促進地域連携事業によって、退職しても次の「ステージ」がある街「松山市」になればよいと思います。

レガシーとなるように「主役として」作り上げるのも高齢者の役割

レガシー (legacy) は英語で「遺産」を意味する言葉です。

本来は「亡くなった人がのこした財産」を意味するのですが、派生的に「世代から世代へ受け継ぐものごと」も意味します。

日本語のレガシーは、後者をさします。

辞書ウェブ編集部による ことばの壺

第 27 回レガシー | 続 10 分でわかるカタカナ語 (もり・ひろし & 三省堂編修所)

| 三省堂ことばのコラム (sanseido publ.co.jp)